

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：遺家族等援護費

事業名 戦傷病者援護関係事業推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 管理援護係 電話番号：058-272-1111(内3442)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 62 千円 (前年度予算額： 62 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	62	0	0	0	0	0	0	0	62
要求額	62	0	0	0	0	0	0	0	62
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

戦争による戦傷病者を援護するための各種事業を実施することにより、戦傷病者の健康増進に寄与する。

(2) 事業内容

- ・戦傷病者乗車券引換証の交付
- ・戦傷病者に対する相談業務経費

(3) 県負担・補助率の考え方

国家としての戦争により戦傷病者となった方への生活を援護し、その健康増進に対する援助として、公的機関である県が実施する。

(4) 類似事業の有無

他に類似事業なし。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	31	各種消耗品等（コピー代、一般事務用品代）
役務費	31	電話代、郵便料
合計	62	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

他県も同様に実施。

(2) 後年度の財政負担

前年度事業実績を勘案して対応。

(3) 事業主体及びその妥当性

国家としての戦争により、戦傷病者となった方の生活を援護し、その健康増進に対する援助として、公的機関である県が実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

戦争による戦傷病者を援護するための各種事業を実施することにより、戦傷病者の健康増進に寄与する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

戦傷病者の健康増進を図るためのものであり、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	予算の範囲内で実施。 相談等を実施することにより、戦傷病者健康増進を図ることができた。
令和 3 年度	予算の範囲内で実施。 相談等を実施することにより、戦傷病者健康増進を図ることができた。
令和 4 年度	予算の範囲内で実施。 相談等を実施することにより、戦傷病者健康増進を図ることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

▪ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	戦争による戦傷病者を援護するための各種事業を実施することにより、戦傷病者の健康増進を図ることが必要。
▪ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	戦傷病者の健康増進が図られ、効果が得られている。
▪ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	必要に応じて相談等を実施。

(今後の課題)

▪ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 必要に応じて適切に実施。

(次年度の方向性)

▪ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要に応じて適切に実施。
--